

第 29 回光学シンポジウム

日 時： 2004 年 6 月 17 日 (木), 18 日 (金)

場所(予定)： 早稲田大学国際会議場 (井深大記念ホール)

主 催： 日本光学会

講演方法および時間：

- a) 口頭講演：講演時間 20 分, 質疑応答 5 分
- b) ポスターセッション(予定)：ショートプレゼンテーション 5 分, 説明時間 120 分

応募資格： 日本光学会 (入会予定含む), 応用物理学会, SPIE, OSK, 協賛学協会会員

応募方法： 以下の内容を応募先に電子メールにて送付
題目, 氏名, 所属, 英文題目, 英文氏名, 所属英文名,
概要 (200 字以内), 連絡先

応募締切： 2004 年 3 月 2 日 (火) 必着

予稿締切： 2004 年 4 月 23 日 (金) 必着

応募・問合せ先： 富士写真光機(株)光学設計部 渡部文男

〒331-9624 さいたま市北区植竹町 1-324

E-mail: f-watanabe@msv.fujinon.co.jp

電話 048-668-2106 Fax 048-653-2250

詳細につきましては, 第 33 巻第 1 号の綴じ込み案内, または日本光学会ホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/sympo.html>) のシンポジウム案内をご覧ください。

光設計研究グループ第 30 回研究会

テーマ： 光学素子の加工と評価～最近の話題～

日 時： 2004 年 2 月 27 日 (金) 10:20~15:40

場 所： 新宿京王プラザ 4F 花 A

(東京都新宿区西新宿 2-2-1)

交 通： JR 新宿駅西口下車徒歩 5 分

主 催： 日本光学会光設計研究グループ

プログラム：

- 1) 非球面レンズの偏心測定及び形状測定
野澤竜介 (オリンパス)
- 2) マイクロレンズの加工技術
三船博庸 (リコー)
- 3) モールドレンズ用光学ガラス
沢登成人 (住田光学ガラス)
- 4) フェムト秒レーザーパルスによる 3 次元光学素子の作製と実用化への課題
渡辺 歴, 伊東一良 (大阪大)
- 5) 放射光リソグラフィによる三次元マイクロ・ナノ構

造の製作とその応用

杉山 進 (立命館大)

- 6) レーザーアブレーションによる光学素子の波面補正
實野孝久 (大阪大), 徳村啓雨 (ナルックス)

参加費： 光設計研究グループ会員 2,000 円, 光設計研究グループ学生会員 無料, 一般 8,000 円, 学生一般 1,000 円

参加申込： 氏名 (フリガナ), 所属, 住所, 電話, Fax, E-mail, 参加区分 (参加費参照) を, E-mail または Fax または郵送にて下記申込先までお送りください。

申込先： NEC マルチメディア研究所 光ディスク開発センター 片山龍一

〒216-8555 川崎市宮前区宮崎 4 丁目 1-1

電話 044-856-8076 (直通) Fax 044-856-8869

E-mail: r-katayama@bl.jp.nec.com

問合せ先： 松下電器産業(株)パナソニック AVC ネットワークス社 AVC 開発センター デバイス第 1 開発グループ 山形道弘

〒571-8501 門真市大字門真 1006

電話 06-6900-9656 (直通) Fax 06-6900-9658

E-mail: yamagata.michihiro@jp.panasonic.com

<http://www.opticsdesign.gr.jp/>

第 91 回微小光学研究会「バイオフィotonicsと微小光学」

日 時： 2004 年 3 月 9 日 (火) 10:30~17:10

場 所： キャンパスプラザ京都 4 階第 3 講義室 (京都市下京区西洞院通塩小路下る)

交 通： JR 京都駅ビル駐車場西側 京都駅より徒歩 5 分

主 催： 日本光学会微小光学研究グループ

プログラム：

光コヒーレンストモグラフィ (OCT) の医療応用と技術展開

春名正光 (大阪大)

MALDI-TOF-MS による生体高分子解析

岩本慎一, 田中耕一 (島津製作所)

携帯可能なユビキタス血流センサ

美野真司 (NTT)

近接場走査型顕微鏡による細胞イメージング

R. ミケレット, 川上養一, 藤田茂夫 (京都大)

単一分子計測とバイオフィotonics

船津高志 (早稲田大)

プリズム一体チップを用いた高感度 SPR センサ
納谷昌之 (富士写真フィルム)

RGB 発光生物と光制御可能な細胞発光素子

近江谷克裕 (産業技術総合研究所)

人工視覚用パルス周波数変調方式ビジョンチップ

太田 淳 (奈良先端大)

ナノバイオデバイスによる生体情報計測

馬場嘉信 (徳島大)

バイオオプティクス-生命科学への挑戦

菊地 眞 (防衛医科大)

懇親会 (2F ホール)

参加費: 一般 4,000 円, 学生 1,000 円 (資料代含む, 当日ご持参ください)

参加申込: 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先: 松下電器産業(株)メディア制御システム開発
センター 山本和久

電話 06-6906-2420 Fax 06-6908-5912

E-mail: yamamoto.kazuhisa@jp.panasonic.com

http://www.din.or.jp/~microopt/

馬場俊彦 (横浜国立大)

7) 半導体レーザーの動作原理-材料, デバイス, シミュレーション技術-

波多腰玄一 (東芝リサーチ)

8) 周期構造の光学-高性能光デバイスの基盤技術へ-

栖原敏明 (大阪大)

9) 変調復調-光情報の極限利用のために-

菊池和朗 (東京大)

10) デジタル画像処理-広まる画像の利用に向けて-

小松進一 (早稲田大)

11) 総括-なるほど, そうなのか!-

後藤顕也 (東海大)

参加費: 一般 20,000 円 (5月10日まで申込), 22,000 円 (当日申込), 学生 4,000 円 (5月10日まで申込), 5,000 円 (当日申込) * 1日単位の申込みは不可

参加申込: ①住所, 氏名, 勤務先, 電話番号, Fax 番号, E-mail アドレス, ②参加費振込予定日, 会社等で複数人数分を一緒に振り込まれる場合は, そのお名前と内訳, ③その他, セミナーへのご要望事項等をご明記の上, 電子メールまたはハガキ, ファクスで下記までお送りください。

申込先: 東京工業大学精密工学研究所マイクロシステム
研究センター気付 微小光学研究グループ事務局
松永典代

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259

電話/Fax 045-924-5059

E-mail: fmatsuna@ms.pi.titech.ac.jp

振込先: みずほ銀行厚木支店(店番号 758) 普通 2520963
名称「微小光学特別セミナー」

参加締切: 5月10日までにお申し込みください。

問合せ先: 東芝リサーチ・コンサルティング 波多腰玄一
電話 044-549-2138 Fax 044-520-1501

E-mail: genichi.hatakoshi@toshiba.co.jp

http://www.din.or.jp/~microopt/index.htm

第 14 回微小光学特別セミナー「今こそ微小光学の基礎」

日 時: 2004 年 6 月 1 日 (火) 10:00~17:00,

6 月 2 日 (水) 9:30~17:20

場 所: 早稲田大学国際会議場 3F 会議室 (西早稲田キャンパス, 東京都新宿区西早稲田 1-6-1)

主 催: 日本光学会微小光学研究グループ

プログラム:

6 月 1 日 (火) 10:00~17:00

1) 総論-フォトリソの進展と微小光学の手引き-
中島啓幾 (早稲田大)

2) 光ビームとその性質-レーザー光利用の基礎-
伊賀健一 (日本学術振興会)

3) レンズの基礎と収差-光の首根っこ-
森 伸芳 (コニカミノルタオプト)

4) 光の導波と信号の伝送-光回路とコンポーネントの設計-

國分泰雄 (横浜国立大)

5) 分散と非線形効果-本質的ボトルネックと活用法-
黒田和男 (東京大)

6 月 2 日 (水) 9:30~17:20

6) 光波シミュレーション-フォトリソ結晶を例にして-

「ナノテクノロジーおよび MEMS 技術の光産業分野への応用」公開セミナー

日 時: 2004 年 3 月 2 日 (火) 10:00~17:50

会 場: 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

主 催: (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会, (社)精密工学会

半導体に対する微細加工技術は, マイクロメーターオーダーからナノメーターオーダーに桁が上がり, 精力的に研

究が進みつつあります。おもに大学を中心に研究開発が進められているナノテクノロジー、MEMS、およびフォトニク結晶の分野にスポットをあて、これらの技術が将来技術において果たす役割、次世代の光電子デバイスや大規模光集積回路開発にどう結びついていくかの道筋、光情報通信もしくは光産業分野への具体的応用、さらにデバイスの作製技術や生産性というように多方面から、現状と将来方向についてご講演をしていただきます。

現在光情報通信もしくは光産業分野の業務に従事されている方々、またこれから携わろうとしている方々にとって、大変有益な講演内容となっていますので、ぜひ受講されることをお勧めします。

プログラム：

- ・半導体ナノテクノロジーと次世代光電子デバイス
- ・フォトニク結晶の光情報通信デバイスへの応用
- ・光技術の共通ツールとしての3次元フォトニク結晶
- ・MEMS技術と光情報通信、光産業への応用1
- ・MEMS技術と光情報通信、光産業への応用2
- ・MEMS技術と光情報通信、光産業への応用3

参加費：1名につき一般 25,515円、正会員 15,330円、賛助・協賛会員 19,425円、学生 4,095円(テキスト・消費税を含む)

定員：100名

申込期限：2004年2月24日(火)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

http://www.joem.or.jp

「光部品から見た光情報通信」公開セミナー

日時：2004年3月10日(水) 10:00~17:50

会場：機械振興会館地下3階2号室(東京都港区芝公園3-5-8)

主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

協賛：日本光学会、(社)精密工学会、(社)電子情報通信学会

光情報通信分野のビジネスの立ち上がりへ向け、これからこの分野への進出を考える光学メーカーの開発企画、技術開発分野の方々を対象に、これからの光情報通信分野の全体像を光部品にスポットをあてながら説き起こします。

次に、各家庭やオフィスでの情報配信における光化、各家庭やオフィスから交換局までいわゆるアクセス系通信網における光化のシステムと光部品の動向、交換局間や都市内の通信網いわゆるメトロ系通信網における光化のシステ

ムと光部品の動向、全国レベルでのバックボーンネットワーク通信網の光化のシステムと光部品の動向という順に、各階層毎に通信網の光化のシステムと光部品の動向を解説します。

最後に、光情報通信網全体での使用されていくであろう光部品の全体像を総括します。

プログラム：

- ・光情報通信の全体像
- ・家庭内光情報通信システム
- ・光情報通信におけるアクセス系の役割とそこに用いられるデバイス
- ・光情報通信におけるメトロ系の構成と役割
- ・光情報通信における幹線系の構成と役割
- ・光情報通信において必要とされる光部品の現状と将来

参加費：1名につき一般 25,515円、正会員 15,330円、賛助・協賛会員 19,425円、学生 4,095円(テキスト・消費税を含む)

定員：50名

申込期限：2004年3月3日(水)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

http://www.joem.or.jp

「プロジェクションディスプレイの最新動向と光学技術」公開セミナー

日時：2004年3月12日(金) 10:00~17:50

会場：機械振興会館地下3階研修2号室(東京都港区芝公園3-5-8)

主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

協賛：日本光学会、(社)映像情報メディア学会

毎年拡大を続けるプロジェクター市場。ビジネスシーンでは「高解像度」「高輝度」「省スペース」のニーズに応えるべく急速に技術革新が進んでいます。

本セミナーでは液晶プロジェクターの光学系、LCOS液晶パネルおよびDMD素子と光学系、プロジェクター用ランプ、新規高画質ディスプレイスクリーンなどの要素技術、要素部品、デバイスについての講演を中心に、トピックスとして超薄型リアプロジェクターについて各技術分野の第一人者の方より現状の技術を整理していただき、さらに将来動向について解説をしていただきます。

ディスプレイ関連の技術開発に携わる方はもちろんのこと、光学設計者の方々にもぜひご参加されることをお勧めします。

プログラム：

- ・液晶プロジェクターの光学技術と最新動向
 - ・高解像度プロジェクター用 LCOS 液晶パネル (D-ILA) について
 - ・DLP™ プロジェクション・ディスプレイの最新技術動向と光学技術
 - ・プロジェクター用ランプの最新動向
 - ・多重散乱を利用した新規高画質ディスプレイの提案
 - ・屈折・反射光学系を用いた超薄型リアプロジェクター
- 参加費：1名につき一般 25,515 円，正会員 15,330 円，賛助・協賛会員 19,425 円，学生 4,095 円 (テキスト・消費税を含む)

定員：100名

申込期限：2004年3月5日(金)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

http://www.joem.or.jp

応用光学懇談会第125回講演会「先端フォトリソ技術の動向」

日時：2004年3月18日(木) 14:00~16:00

会場：島津マルチホール(大阪市北区芝田1丁目1-4 阪急ターミナルビル14階 島津製作所関西支社内，電話 06-6373-6545)

交通：JR大阪駅，阪急梅田駅より歩いてすぐ

地図：http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/access/map/kansai.html

主催：応用光学懇談会

講演：

14:00~15:00 半導体ナノ構造によるフェムト秒フォトリソデバイス

和田 修(神戸大)

15:00~16:00 可変焦点ミラーを用いた全焦点射影光学系と三次元画像計測への応用

石井 明(立命館大)

参加費：会員 無料，非会員 2,000 円，学生 無料

申込方法：氏名，所属，連絡先(住所，電話番号，Fax 番号，E-mail)を明記の上，E-mail または Fax にて下記へお申し込みください。

問合せ先：神戸大学工学部情報知能工学科 的場 修

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

電話 078-803-6235 Fax 078-803-6390

E-mail: matoba@kobe-u.ac.jp

「光学」スプリングスクール

デジタルカメラ，DVD や大型ディスプレイなど爆発的に売れている製品のキーテクノロジーのひとつは，光学技術といっても過言ではないでしょう。本スクールでは，これから光学技術を利用しようと考えている方で，短期間にその入門を学習したい方を対象に，光学のエッセンスを学習するスクールを企画しました。これからますます重要になる光技術に，第一歩を踏み出してみませんか。

日時：2004年3月23日(火)，24日(水)

9:30~17:00

場所：東京工芸大学中野キャンパス芸術情報館第1会議室

主催：東京工芸大学工学部

対象者：これから光を使いたい技術者または一般の方

講座内容：

1. 幾何光学入門：1-1. 光の性質，1-2. 平面鏡とプリズム，1-3. 球面，1-4. 薄肉レンズ，1-5. 肉厚レンズ
2. 光学設計入門：2-1. 絞りと瞳，2-2. 収差とは，2-3. 光線の自由度，2-4. 像の明るさ，2-5. 像の評価方法
3. 波動光学入門：3-1. 波動と光波，3-2. 波の重ね合わせ，3-3. 光の干渉，3-4. コヒーレンス，3-5. 光の回折
4. 視覚光学入門：4-1. 視覚系の構造と基本機能，4-2. 眼球結像系と像特性，4-3. 視覚情報処理，4-4. 眼球運動と情報探索，4-5. 立体視特性

定員：30名(先着順受付)

受講料：10,000円(昼食付)

申込方法：住所，氏名，電話番号，E-mail アドレス，年齢，学歴(専攻科名)，職業(勤務先，職種)を明記し，ハガキ，Fax または下記の E-mail アドレスへ，受講料は受付後に請求いたします。送金確認後に受講票をお送りいたします。

申込締切：2004年3月10日(金)

問合せ先(申込先)：東京工芸大学 スプリングスクール係
〒243-0297 厚木市飯山1583

電話 046-242-9503 Fax 046-242-3000

E-mail: shomu@office.t-kougei.ac.jp

第33回光波センシング技術研究会論文募集

テーマ：環境・安全と光波センシング：先端及び実用技術を展望する

日時：2004年6月3日(木)，4日(金)

場所：海洋科学技術センター(東京都港区西新橋1-2-9)

主 催： 応用物理学会光波センシング技術研究会

参加費： 11,000 円 (論文集合む)

申込締切： 2004 年 3 月 12 日 (金) 必着

原稿締切： 2004 年 5 月 10 日 (月) 必着

問合せ先： 光波センシング技術研究会事務局 矢嶋弘義

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

農工大インキュベータ 1203 超技術開発者集団(株)

気付

電話/FAX 042-388-7756

E-mail: h-yajima@cc.tuat.ac.jp

詳しくは、応用物理学会ホームページ (<http://jsap.or.jp/obutsu/branch/group.html>) をご覧ください。

3次元画像コンファレンス 2004 論文募集—Call for paper: 3D Image Conference 2004—

三次元画像に関連する研究調査活動を行っている学会・研究会が一堂に会した研究発表・討論の場として、3次元画像コンファレンス 2004 を開催いたします。本コンファレンスは、三次元画像の入力・表示・処理・通信や立体視などにかかわる研究発表の場であると同時に、技術的視点を離れた社会的側面から三次元画像の応用についても議論する場にしていきたいと考えます。各関連学会・研究会の皆様からの積極的な発表・応募を期待いたします。どうぞふるってご応募ください。

日 時： 2004 年 7 月 1 日 (木), 2 日 (金)

場 所： 工学院大学 新宿校舎 (JR 新宿駅西口徒歩 5 分)

主 催： 3次元画像コンファレンス 2004 実行委員会

プログラム構成： 招待講演, 応募による一般講演およびポスター講演

募集論文の内容： 3次元画像に関する諸技術・応用：① 3次元画像の入力・表示等に関する画像エレクトロニクス技術, ② 視覚・認識・理解・生成・符号化・映像表示等に関する画像情報処理技術, ③ 放送・通信・医療・教育などへの応用, ④ VR・アート・可視化・各種産業および学術分野への応用 (応用については、技術的な内容である必要はありません)

参加費： 協賛学会・研究会会員 10,000 円, 非会員 13,000 円, 学生 5,000 円。参加費にはすべて論文集代 (製本版および CD-ROM 版) を含みます。ただし、2004 年 6 月 1 日 (火) までに参加申し込みをされた方には懇親会費を 500 円割引いたします。

送付先：

(株)精機通信社気付「3次元画像コンファレンス 2004 実行委員会」

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

電話 03-3367-0571 Fax 03-3368-1519

E-mail: submit@3d-conf.org

問合せ先： info@3d-conf.org

申込締切： 2004 年 2 月 27 日 (金) 必着

詳しくは、ホームページ (<http://www.3d-conf.org/>) をご覧ください。

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1 NTT フォトニクス研究所 複合光デバイス研究部

神原浩久 電話 046-240-3238 Fax 046-240-4527 E-mail: kanbara@aecl.ntt.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで、開催日が 1~10 日の場合は、開催日の 3 か月前の 15 日までにお願ひします。

日本光学会平成15年度幹事(*常任幹事)

幹事長:	山本 公明* (オリンパス)	
副幹事長:	大坪 順次* (静岡大)	
前幹事長:	岩田 耕一 (大阪府大)	
庶務幹事:	川田 善正* (静岡大)	大澤日佐雄* (ニコン)
	田中 賢一* (明治大)	平尾 明子* (東芝)
	塚田 由紀* (交通研)	長濱 博幸* (トプコン)
	平井亜紀子* (産総研)	神原 浩久* (NTT)
『光学』編集幹事:	岩井 俊昭* (北大)	三尾 典克 (東大)
	加藤 純一 (理研)	裏 升吾 (京都工繊大)
『OR』編集・出版幹事:	一岡 芳樹* (奈良高専)	豊岡 了 (埼玉大)
国際協力幹事:	岡 和彦 (北大)	富田 康生 (電通大)
	立野 公男 (日立)	
将来問題担当幹事:	志村 努 (東大)	山崎 章市 (キヤノン)
企画・事業担当幹事:	大坪 順次 (静岡大)	梅田 倫弘 (農工大)
	春名 正光 (大阪大)	仁科喜一郎 (リコー)
	渡部 文男 (富士写真光機)	篠原浩一郎 (富士ゼロックス)
	山下 敦司 (コニカミノルタ)	太田 淳 (奈良先端大)
	吉田 慎也 (シャープ)	金子 寛彦 (東工大)
	阿山みよし (宇都宮大)	佐藤 彰 (コニカミノルタ)
	三浦 則明 (北見工大)	宮城 光信 (東北大)
	野村 俊 (富山県立大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	庄司 一郎 (分子研)	西 壽巳 (大阪工大)
	早崎 芳夫 (徳島大)	光永 正治 (熊本大)
